

まちづくり達成状況報告書（事務事業点検シート）

課等名： 税務課 シートNo： 121 作成日： 2024/2/13

① 総合計画上の位置付けと事務事業説明

後期 基本 計画	施策の大綱	Ⅶ行財政運営の効率化	背景・課題	目的・意図
	施策の目標	1市民満足度の高い行財政運営を進める	・地方税法に基づき、各種市税への適正な課税を行います。 ・適正な課税を行うためには、職員の専門的な知識が求められるため、特に経験の浅い職員の研修会等への参加は必要不可欠です。 ・行政運営を行うためには財源確保が必要であり、そのため納期内納付を徹底して滞納の未然防止に努めるとともに、滞納発生時には早期対応が必要となります。	・申告相談を開催し、納税者の自主的かつ適正な納税を指導します。 ・行財政運営の基盤となる市税の適正かつ公平な賦課業務を強化することで、課税誤り等を未然に防いでいきます。 ・新規滞納発生時の早期対応として、督促状や催告書での納税催告と並行して財産調査に着手し、滞納が累積する前の滞納処分を執行します。
	施策	2財政運営		
	施策内容	財政運営の適正化		
	その他、根拠法令 及び分野別計画	地方税法		
事務事業名	賦課徴収事務			

・地方税法に基づき、各種市税への適正な課税を行います。
・適正な課税を行うためには、職員の専門的な知識が求められるため、特に経験の浅い職員の研修会等への参加は必要不可欠です。
・行政運営を行うためには財源確保が必要であり、そのため納期内納付を徹底して滞納の未然防止に努めるとともに、滞納発生時には早期対応が必要となります。

・申告相談を開催し、納税者の自主的かつ適正な納税を指導します。
・行財政運営の基盤となる市税の適正かつ公平な賦課業務を強化することで、課税誤り等を未然に防いでいきます。
・新規滞納発生時の早期対応として、督促状や催告書での納税催告と並行して財産調査に着手し、滞納が累積する前の滞納処分を執行します。

② インプット（投入）

主な予算科目	会計名	
	一般会計	
	款	総務費
	項	徴税費
	目	賦課徴収費
	事業	賦課経費・徴収経費

③ 主なアクティビティ（活動）とアウトプット（結果）

アクティビティ（活動）				アウトプット（結果）	
活動名	対象者	活動指標（回数・件数・日数等）		活動指標（参加者数・面積等）	
		R5年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	R5年度目標値
申告相談	市民	20回	20回	5,946人	5,500人
職員に対する固定資産税務事務研修	固定資産税係新人職員	3回	3回	2人	3人
市税の納付方法の発信	市民	4回	4回	70,977件	67,773件
財産調査、滞納処分	滞納者	4,700件	2,400件	824件	735件

④ 初期・中間アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R5年度目標値
市県民税・軽自動車税賦課率	100.0%	100.0%
固定資産税賦課率	100.0%	100.0%

⑤ 最終アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R9年度目標値
市税現年課税分収納率	98.76%	99.40%
市税滞納繰越分収納率	30.79%	34.30%

⑥ 点検

改善の余地						今後の方向性
☐	コスト	☐	活動	☒	成果	☐
業務の振り返り						
・市民から課税に対する疑義などもありましたが、地方税法等に基づきその都度対応ができました。 ・滞納が高額化する前に催告などで納付を促すとともに、積極的に財産調査を進め、累積する前の滞納処分を徹底しました。結果、現年課税分収納率については前年度の実績より△0.27%となった一方、滞納繰越分の収納率は+3.48%と改善されました。						・公平・公正な課税を行うため、申告相談等による課税資料の収集を引き続き行います。 ・今まで以上に専門的知識を有する民間事業者との連携を密にし、行財政運営の基盤となる市税の適正かつ公平な賦課業務を強化していきます。 ・口座振替の推進やキャッシュレス決済納付等の多様な納付方法を周知し、納税者の利便性を向上させ、新規滞納者を発生させない取り組みを進めていきます。 ・納税催告を行っても納付のない滞納者については、幅広く財産調査を行い、滞納処分などにより早期解決を徹底していきます。